

2004 市民ひゅーまんセミナー

講演「ハンセン病と人権」

堀井 隆水さん（武庫川女子大学教授）

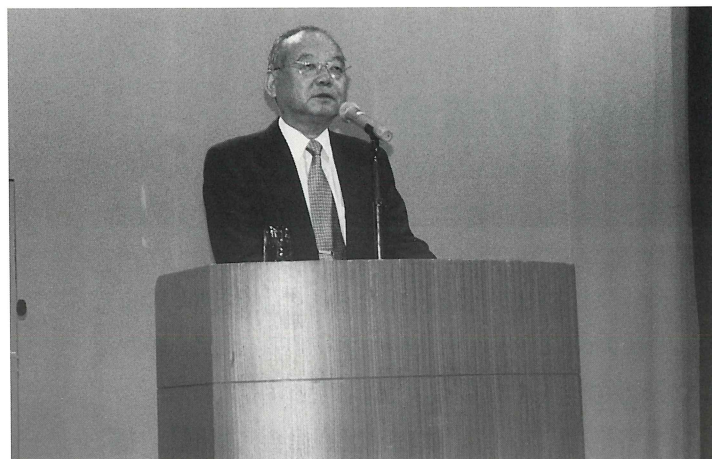
「わたしの体験談」

川島 保さん（社会復帰者）

10月5日から開催された「2004市民ひゅーまんセミナー」は、多くの参加者のもと、さまざまな人権上の課題について、専門の立場から、あるいは体験を通しての講演をいただき、充実したセミナーとなりました。その中から10月5日（火）に行われた「ハンセン病と人権」「わたしの体験談」を紹介します。堀井さんからは、ハンセン病についての基礎的なお話や、現在に至るまでの歴史的な背景をわかりやすくお話いただきました。また、川島さんは、国立療養所での生活から社会復帰されるまでのご自身が体験された出来事や思いを熱く語られました。

地区委員会代表研修会

今年度の地区委員会代表研修会は、「吹田市人権啓発推進協議会の今後の取組みと課題」と題して、当協議会の山本冬彦会長に講演をいただきました。各地域の課題を明確にし、地域の諸団体や個人と協力・連携して日常的な取組みを進めていくことの重要性など、人権啓発をどのように考え、どのようにすすめたらよいのかについて、資料をもとにお話いただきました。また、その後3つのグループにわかれて、各地域の取組みや課題について情報交換会を行いました。



催し・研修会ご案内

◆「2004人権フェスティバル」

日時 12月5日（日）午後1時30分～午後3時20分

内容 ・セレモニー：市長・議長挨拶/来賓紹介

・バリアフリーストーク&コンサート

「心のあけぼの」

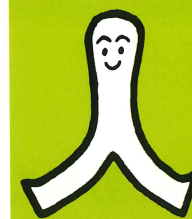
チームアウローラ

（音楽を通じてバリアフリー交流を目的とし、1999年に誕生した障害者中心の音楽集団。）音楽と共に視覚障害者の喜びや悲しみ、具体的なハンデキャップやその解決法、盲導犬の話などを加え、障害者および盲導犬に対する相互理解と交流を深めるコンサート。

主催 吹田市・吹田市教育委員会
吹田市人権啓発推進協議会

発行／吹田市人権啓発推進協議会
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
☎(06) 6384-1231(代)内線2598
FAX (06) 6368-7345(直通)

（再生紙を使用しています）



吹田市

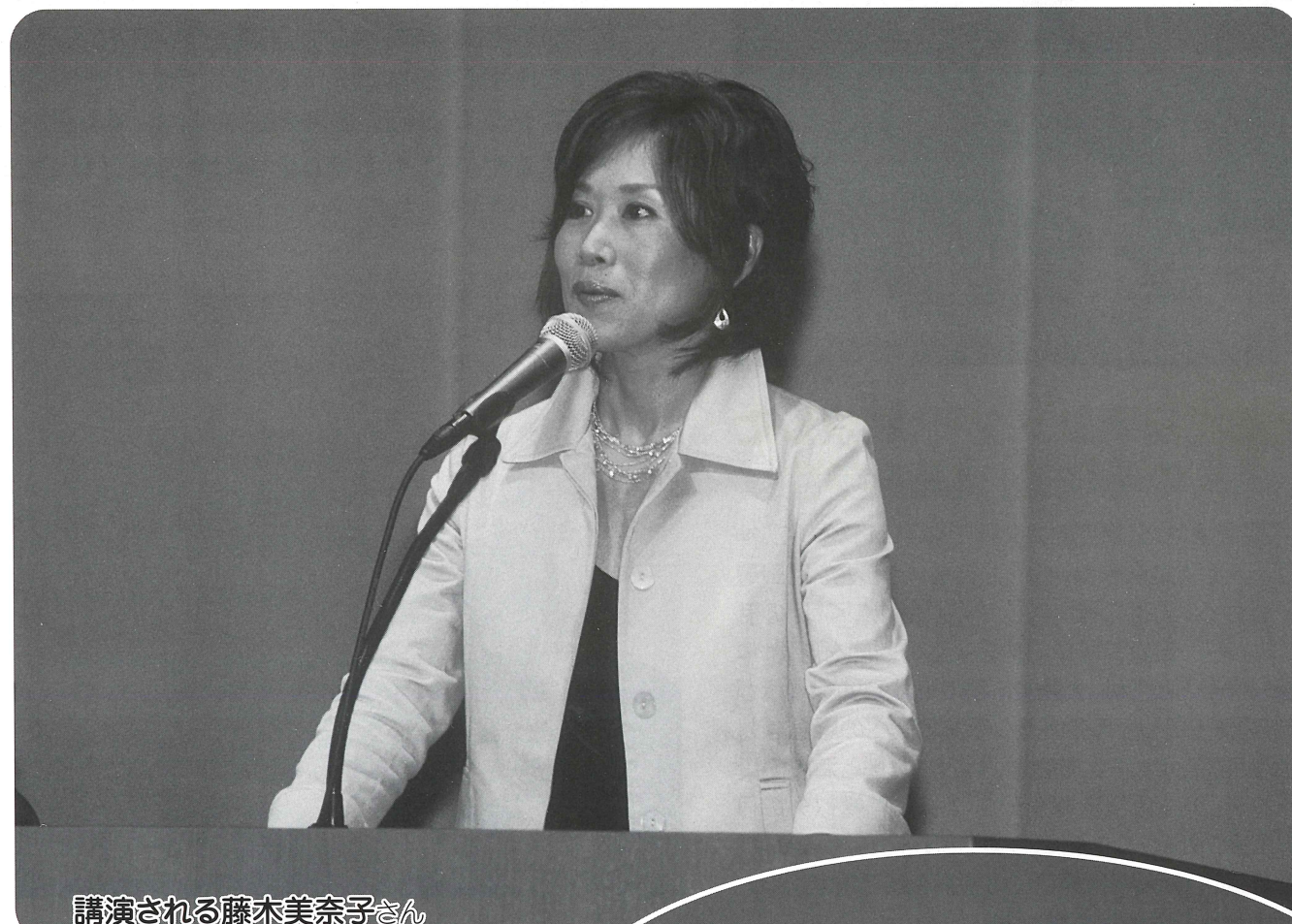
人権協だより



じんけんネット吹田

No. 17

平成16年(2004年)11月



講演される藤木美奈子さん



アンサンブルLab

憲法と市民のつどい

会場：メイシアター 中ホール

2004年5月22日（土）メイシアター中ホールにおいて『憲法と市民のつどい』が開催されました。作家でありNPO法人代表理事の藤木美奈子さんに「どんな人生もいいものだ」～DV・虐待体験からの脱却～と題してご講演いただきました。藤木さん自身のDV・虐待体験をもとに、夫婦や家庭をはじめとして、人と対話する事の重要性、そして何よりも自分自身を愛する事の大切さについてお話されました。とても具体的にお話されたので、参加者からは、「深く心に残った」「夫婦や家族のあり方について考えるよい機会になった」などの感想が数多く寄せられました。また、嶋本高之さんを中心としたアンサンブルLabによる竹田の子守唄などのジャズ演奏が心に響きました。



(豊一地区委員会)

「人と防災未来センター・戦没した船と海員の資料館」施設見学会

豊一地区委員会は、公民館との共催で4月15日(木)に、神戸市にある「人と防災未来センター」を訪れました。河田恵昭センター長から『災害に強いまちづくり、地域づくり』の話を伺いました。また、三次元映像で地震発生の瞬間を再現、体感でき、震災メモリアルでは、大震災に関する体系的な展示がなされ、近い将来起こりうるであろう南海地震への緊急な対策の必要性を痛感しました。午後は「戦没した船と海員の資料館」を訪れました。太平洋戦争で失われた軍艦以外の日本船は7千余隻、徴用された船舶の実に88%が沈められ、戦没した徴用船員は、6万余名。再びこの惨禍を起こさないよう、平和への努力の大切さを再認識しました。

(豊一地区委員会 西岡 良記)



(西山田地区委員会)

「人を救い、癒す 素晴らしい犬たち」セラピードック・レスキュードック講演会

6月12日(土)西山田公民館において、日本レスキュー協会のセラピードック育成と派遣に関する講演を聴き、社会に貢献できる素晴らしい犬について知る機会を得ました。高齢等のために心を閉ざしがちな人たちにとっては、賢くけなげなセラピードックがそばにいただけで心の扉を開く手助けをしてくれます。これらの犬は血統ではなく雑種で、人間社会で捨てられた犬の中から適性によって選び、訓練を受けさせます。人間が限界を感じたときにも、犬たちは難なく壁を飛び越えて私達に暖かい手を差し伸べてくれます。このような癒される話の裏に、年間20万頭もの犬たちが小さな命を絶たれているということを聞き、誠に残念に思いました。ゴミのように捨てられ保健所の中で寂しく死を待つ犬たちが忘れられません。

(西山田地区委員会 角谷 裕)

「私 OK,あなたOK」人権啓発講演会

6月17日(木)南吹田地区公民館共催で、金香百合さんの「私 OK,あなた OK」と題する講演会を行いました。その中で自尊感情とエンパワー(自分らしさが引き出されている状態)の視点から見た、人間に必要な二つの栄養(身体と心の栄養)についてのお話がありました。栄養が足りていると、人は自尊感情の高まりやエンパワーがおこり、自分の可能性を信じて自己変革と社会変革を作り出します。そして他人との対話の意思を持ち、自分をよくし、家庭や地域、社会もよくなります。栄養が不足すると、エンパワーの満ち足りた温かい環境がなくなり、全てに対して暴力的になり人間失格となります。人が心豊かに21世紀を生きるため、人権文化を地域に広め、「私 OK,あなた OK,私達 OK」の世の中になるようお願いいたします。

(吹南地区委員会 前田 博)



(吹南地区委員会)



人権啓発研修会「採用と人権」

6月18日(金)、企業人として不可欠な人権感覚の研鑽を目的に、大阪労働局職業安定部職業対策課の岡時郎さんに「採用と人権」と題して、基本的人権を尊重した公正な採用選考についてご講演をいただきました。平成17年4月より個人情報保護法の罰則規定が施行され、行政・企業における取組みも急務とされています。人権の課題として同和問題を始めとする色々な問題について、理解しやすくまた、熱心にご講演をいただきました。人権問題に対する取組みについても、企業人としてより深く理解できました。人権研修は、建前のために実施すべきではなく、しなやかな感性などを育てるために実施しなければならないと強く認識し、一層人権問題の正しい理解に努めてまいりたいと思います。

(協力企業部会 近藤 高廣)



(山手地区委員会)

「琵琶湖博物館」施設見学会

7月6日(火)山手地区公民館と共催で琵琶湖博物館を見学しました。人間が400万年の歴史を誇る琵琶湖のまわりに住み着いてからは、琵琶湖と共存し、その恵を受けながら独自の文化を発展させてきました。この博物館は自然と人とのかかわりについて考える場であり、魅力ある入口です。館内の展示物は、今日まで続いている琵琶湖と人間とのかかわりの歴史を、湖底遺跡・湖上交通・漁労の様子などを通して示しています。人々の暮らしと琵琶湖との結びつきの深まりが見えてきます。人は自然に働きかけ、自然を利用することによって暮らしてきました。環境とは何かと考え、将来にわたる湖と人間の望ましい関係を探ることができました。

(山手地区委員会 板野 勝彦)



(協力企業部会)